



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 秀樹 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	37,475	11.8	1,975	20.3	2,195	19.5	3,910	262.0
28年3月期第3四半期	33,532	△0.6	1,642	△13.3	1,836	△13.0	1,080	△27.1

(注1) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,634百万円 (295.2%) 28年3月期第3四半期 1,172百万円 (△45.0%)

(注2) 表示方法の変更に伴い、平成28年3月期第3四半期の営業利益を1,554百万円から1,642百万円に変更しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	139.99	—
28年3月期第3四半期	38.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	66,396	40,216	60.6
28年3月期	57,478	35,961	62.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 40,216百万円 28年3月期 35,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	11.1	1,800	40.3	2,000	31.4	3,600	413.6	128.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	30,563,199株	28年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,613,134株	28年3月期	2,637,602株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	27,936,457株	28年3月期3Q	27,875,201株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 主力品の売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は374億7千5百万円と前年同期比11.8%増の増収となりました。利益面では、製品承継等に伴う減価償却費の増加や開発候補品導入等による研究開発費の増加を受けて、販売費及び一般管理費が前年同期を上回ったものの、売上が順調に拡大したことにより、営業利益19億7千5百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益21億9千5百万円（前年同期比19.5%増）といずれも増益となりました。また、当第3四半期連結会計期間に、福島県より「ふくしま産業復興企業立地補助金」を受領することが確定し、補助金収入25億5千8百万円を特別利益として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、39億1千万円（前年同期比262.0%増）と大幅な増益となりました。

なお、産婦人科・内科・泌尿器科の重点領域強化への取組として、平成28年11月にノーベルファーマ株式会社との間で、産婦人科領域における包括的業務提携契約を締結しました。また、平成28年12月には米国TesoRx社との間で、経口テストステロン剤の日本における開発および販売に関する独占的な提携契約を締結しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医薬品事業

平成28年3月及び9月に配合錠を発売したオーソライズド・ジェネリックカンデサルタン類が順調に売上を伸ばしたほか、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リュープロレリンが前年同期売上高を大幅に上回ったこと等により、売上高は340億6千4百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益は37億3千1百万円（前年同期比20.7%増）と、増収増益となりました。

なお、平成28年9月に製造販売承認を取得した難吸収性抗菌薬「リフキシマ錠」の販売を、平成28年11月に開始しました。

②その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、売上高が34億1千万円（前年同期比3.0%増）と前年同期とほぼ同水準に推移したものの、動物用医薬品事業における原価率の悪化等により、セグメント利益は6千7百万円（前年同期比55.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ89億1千7百万円増加し、663億9千6百万円となりました。これは主に商品及び製品等は減少しましたが、現金及び預金および受取手形及び売掛金等が増加したためであります。

負債につきましては、46億6千2百万円増加し、261億7千9百万円となりました。これは、短期借入金等は減少しましたが、流動負債のその他および支払手形及び買掛金等が増加したためであります。

純資産につきましては、42億5千5百万円増加し、402億1千6百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金等が増加したためであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.0ポイント低下し60.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、平成28年12月20日に公表した予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,462	13,486
受取手形及び売掛金	8,566	11,296
商品及び製品	7,777	5,992
仕掛品	1,205	1,424
原材料及び貯蔵品	2,143	2,649
その他	1,734	2,162
貸倒引当金	△11	△3
流動資産合計	26,878	37,006
固定資産		
有形固定資産	13,801	13,130
無形固定資産	3,296	3,590
投資その他の資産		
投資有価証券	8,985	8,952
その他	4,539	3,740
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	13,501	12,669
固定資産合計	30,599	29,389
資産合計	57,478	66,396
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,784	5,585
短期借入金	2,458	1,429
未払法人税等	81	1,543
その他の引当金	1,297	1,035
その他	3,369	6,693
流動負債合計	10,992	16,287
固定負債		
長期借入金	3,250	2,500
退職給付に係る負債	6,983	6,985
その他の引当金	244	254
その他	46	152
固定負債合計	10,524	9,892
負債合計	21,517	26,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	34,759	38,278
自己株式	△2,410	△2,397
株主資本合計	34,398	37,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,984	2,642
退職給付に係る調整累計額	△422	△356
その他の包括利益累計額合計	1,562	2,286
純資産合計	35,961	40,216
負債純資産合計	57,478	66,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	33,532	37,475
売上原価	19,832	23,069
売上総利益	13,699	14,405
返品調整引当金繰入額	△1	3
差引売上総利益	13,700	14,402
販売費及び一般管理費	12,058	12,426
営業利益	1,642	1,975
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	175	278
不動産賃貸料	94	99
その他	35	37
営業外収益合計	305	414
営業外費用		
支払利息	13	15
為替差損	3	53
不動産賃貸費用	59	83
その他	35	42
営業外費用合計	111	194
経常利益	1,836	2,195
特別利益		
投資有価証券売却益	56	—
補助金収入	—	2,558
特別利益合計	56	2,558
特別損失		
和解金	60	—
支払補償金	67	—
その他	6	—
特別損失合計	133	—
税金等調整前四半期純利益	1,758	4,753
法人税、住民税及び事業税	106	1,558
法人税等調整額	528	△716
法人税等合計	634	842
四半期純利益	1,124	3,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,080	3,910

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,124	3,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	657
退職給付に係る調整額	15	65
その他の包括利益合計	48	723
四半期包括利益	1,172	4,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128	4,634
非支配株主に係る四半期包括利益	44	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	30,221	3,311	33,532	—	33,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	36	36	△36	—
計	30,221	3,347	33,568	△36	33,532
セグメント利益	3,091	152	3,243	△1,601	1,642

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,601百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	34,064	3,410	37,475	—	37,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	33	33	△33	—
計	34,064	3,444	37,508	△33	37,475
セグメント利益	3,731	67	3,799	△1,823	1,975

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,823百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(平成29年3月期 第3四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成28年3月期		当 期 平成29年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第3四半期 実績	年間実績	第3四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	66.1	91.1	98.6	127.3	49.1
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	39.3	47.8	41.9	54.1	6.5
高脂血症治療剤 リピディル	35.0	44.6	33.9	44.2	△ 3.0
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	19.9	27.2	29.6	38.7	49.1
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	14.5	18.0	14.2	18.4	△ 2.0
高血圧症治療剤 アムロジピン	14.1	18.0	13.0	16.8	△ 7.5
抗甲状腺剤 メルカゾール	2.6	5.0	9.0	11.6	239.9
緊急避妊剤 ノルレボ	7.2	9.1	8.7	11.3	20.7
プロトンポンプ阻害剤 ラベプラゾール	7.9	10.4	7.6	9.8	△ 4.4
経口避妊剤 アンジュ	7.5	9.6	7.4	9.6	△ 2.2

※ カンデサルタン配合剤を含む